

テレビ番組映像データベースサービス「Rocket Box」を開発

— テレビ番組内コンテンツが G 空間で展開可能に —

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ i-メディアビジネス局は、テレビ番組として制作された街や店舗の番組映像を位置情報付き映像データベースとして蓄積、配信できる動画変換ASP(Application Service Provider)サービス、「Rocket Box」を開発しました。2009年7月より、放送局をはじめとした映像コンテンツホルダー向けにサービスを開始します。

放送局は番組コンテンツを二次編集し、「Rocket Box」上で緯度・経度・高さなどの位置情報を付加された映像素材としてサーバーへアップロード。映像素材は自動的にサーバー上で様々な形式の動画フォーマットに変換された上でデータベース化され、携帯電話やカーナビゲーションなどで地図情報と連動して映像を見ることができる新しい次世代コミュニケーションサービスに対応することが可能になります。

また「Rocket Box」を利用することにより、テレビ番組の映像配信が自社サイト上で簡単に行えるようになります。放送終了後の映像素材を再利用することで、視聴者に番組へ興味を持つもらう機会が増え、リアル視聴促進にも繋がります。

今後は携帯電話キャリア企業などと連携して、「Rocket Box」と連携した次世代ナビゲーション携帯アプリケーションを使った位置連動型情報サービスを試験的に提供し、検証を行っていく予定です。

博報堂DYメディアパートナーズは、今後も広告主や媒体社、生活者にとってメディア価値の高いサービスを提供し、そして新たな広告ビジネスモデルの可能性を追求してまいります。

※G(geoinformatics)空間とは

現実の空間とインターネット上にある仮想空間の情報を組み合わせたもの。次世代の地図・位置情報システムで使用される。

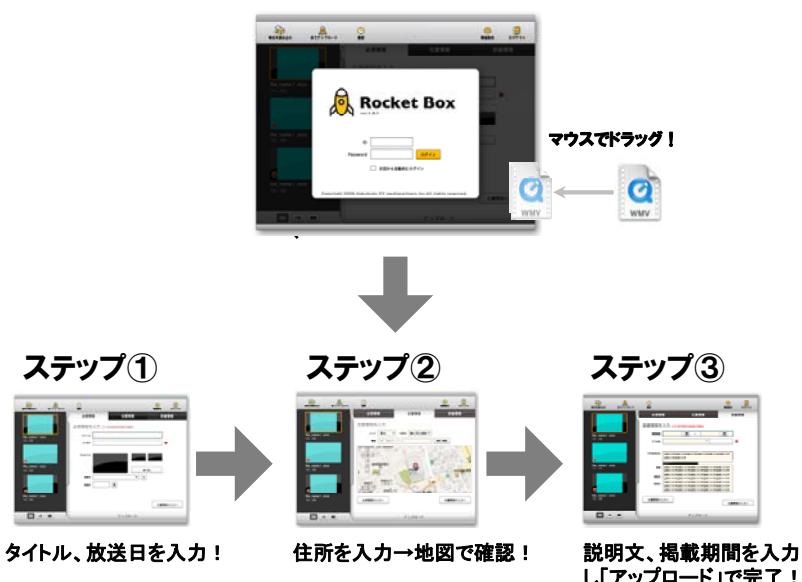
■サービス概要

名称: Rocket Box(ロケットボックス)

概要: テレビ番組で紹介された映像や情報を、位置情報付きで格納するデータベースサービス。番組映像をあらゆる端末で視聴可能な形式に変換し、緯度・経度・高さなどの位置情報を付加してデータベースに格納する。

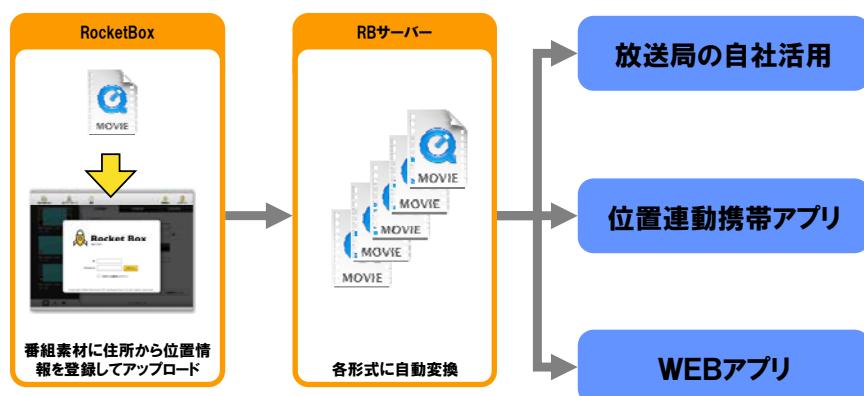
使用方法: 取材先ごとに再編集された番組映像ファイルを専用のデスクトップアプリケーション「Rocket Box」上にマウスでドラッグし。その後、必要項目を入力して完了。

【操作イメージ】



■サービスフロー図

Rocket Box全体図



■この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ 広報グループ 加藤、舟橋 03-6441-9347